

「魔の7歳」

歩行中の交通事故での 死傷者、「7歳」が最多 視野は“大人の3分の2” 飛び出しの原因は 車や信号が見えていないこともある

2023/4/12(水) 7:13

新学期が始まるこの時期に改めて注意が必要なのが子どもの交通事故。

歩行中の交通事故での死傷者で一番多いのは7歳の子ども。

「魔の7歳」は、なぜ道路に飛び出すのか――。

直線道路を走っていると、突然、子どもが飛び出してきた。

また、2020年に都内で撮影された映像には、車側の信号が青だったにもかかわらず、キックボードに乗った子どもが交差点内に進入する様子が見えられていた。

全国的に、歩行中の交通事故での死傷者で一番多いのは7歳の子ども。

「魔の7歳」と呼ばれることもある。

なぜ、7歳は事故が多いのか。

登下校などで単独行動が増えることが考えられるが、子どもは大人よりも見える範囲が狭いことも原因の一つだ。

子どもの視野は大人の3分の2しかなく、車や信号が見えていないこともある。

交通事故を引き起こさないためには、子どもだけでなく、ドライバーや地域全体の心がけが必要だ。